

社会・経済システム学会 第37回大会のご案内

下記のとおり、第37回大会の一般研究報告を募集いたします。会員の皆様におかれましては、ふるってご応募くださいますよう、お願い申し上げます。

大会テーマ：「21世紀の産業革命による社会・経済システムの変容」
開催日：2018年10月27日（土）・28日（日）
場所：静岡大学 浜松キャンパス
大会実行委員長：李 皓 会員
連絡先：〒432-8011 浜松市中区城北 3-5-1 静岡大学浜松キャンパス
情報学部行動情報学科 李皓研究室内
社会・経済システム学会大会実行委員会
e-mail: ibuki@v007.vaio.ne.jp

【大会テーマ趣旨説明文】

20世紀後半から始まった物事の情報化は、21世紀に入ってからさらに加速した。インターネットは人と情報を繋ぎ、人間同士の社交をネットワーク化することで、多様な価値観を持つ人々が、徐々に分かり合えるようになると期待されたが、人々のクラスタ化が進み、思想が異なる人々の交流が減少し、多くの社会に大きな分断やコンフリクトを作り出した。そして今ではヒトとヒト、ヒトとモノだけではなく、モノとモノ、モノとコトも繋がるようになり、ヒトが価値ネットワークに介在する意味が薄くなった。

同時に、情報化によってあらゆるシステムが効率化・合理化されることで、繰り返される退屈な単純労働からの解放が人々に歓迎された一方、今では高度な知的労働も情報システムに置き換えられ始め、数十年後には、多くのヒトの知能は人工物のそれに凌駕されることが予想されている。21世紀の産業革命によって、あらゆる組織において、高付加価値を生む行動や意思決定の主体はヒトから人工物へと代わることが予想されている。また、社会・経済の富を所有者に分配する現在の仕組みでは、社会・経済システムの安定性の維持が困難になる可能性が指摘されている。しかし一方で、人口減少時代に伴う多くの問題に対する処方箋の一つとして、高度情報化による社会・経済システムの再構築も強く期待されている。

ここ数十年の情報化によって、我々の社会・経済システムは大きくその姿を変えた。本大会では、「21世紀の産業革命による社会・経済システムの変容」という大会テーマのもと、さらに加速する情報化やそれに伴う産業革命が我々の生き方に与えた影響を踏まえ、社会・経済システムに含まれるヒト・モノ・コトに関連するあらゆるテーマに対して、多様な観点からの理論・設計・実践・構築などの研究発表が盛んに議論されることを期待する。

1. 報告をご希望の方は、所属機関・氏名・報告論題・報告要旨（400字～600字程度）を **2018年6月15日（金）必着**で、下記リンク先のグーグルフォームよりご応募ください。

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSepumMGvgebjfXIUF5dcLEiisUD7gqXkvb5LD9B1-6XyF2VQ/viewform>

グーグルフォームをご利用できない方は学会事務局（office@jasess.jp）までご一報ください。ご報告の採否は2018年7月末ごろまでにご通知する予定です。

2. ご報告いただくことになった際には、**2018年9月14日（金）必着**でA4版×2枚ないし4枚（偶数枚のみ）の報告要旨原稿をお願いすることになりますので、あらかじめご了承ください。